

平成13年度事務事業評価表

| | |
|----|----|
| 課長 | 担当 |
| | |

| | | | | | |
|----|-----|-------|----|-----|------|
| 担当 | 建設部 | 建築住宅課 | 担当 | 内線等 | 2336 |
|----|-----|-------|----|-----|------|

| | | | | | | |
|-------|----------------------------|-------|--------------|------|------|------------|
| 事業コード | | 事務事業名 | 人にやさしい街づくり事業 | | | |
| 根拠法令等 | 人にやさしい街づくりの推進に関する条例（愛知県条例） | | A 法令 | B 条例 | C 規則 | D その他 E なし |

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

| | |
|-----------------|-------|
| 快適でやすらぎのあるまちづくり | 市街地整備 |
|-----------------|-------|

事務事業の内容

| | |
|--------|---|
| 対象 | 人にやさしい街づくりに関心のある市民 |
| 手段 | 講座（リーダー養成）開催や啓発セミナーを開催することによって |
| 想定する成果 | 人にやさしい街づくりに関心を持ってもらうとともに、街づくりのリーダーとなる人を育てる。 |

事業の概要

| 項目 | 平成12年度実績 | 平成13年度実績 | 平成14年度計画 |
|--------------|--|---|----------------|
| 人街連続講座開催及び協力 | 蒲都市開催61名受講 （内蒲郡関係者28名） | 豊川市開催49名受講 （内蒲郡関係者4名） | 新城市開催（定員50名程度） |
| 人街啓発セミナーの開催 | 人街啓発セミナー1回開催 「観光ボランティア講座」16名 （定員20名） | 人街啓発セミナー2回開催 「やさしい学校」73名（定員53名） 「やさしい家を作ろう」31名 （定員30名） | 人街啓発セミナー2回開催予定 |

目標値

| | |
|---------|--|
| 成果指標名 | 講座・セミナー参加率 |
| 成果指標の説明 | 人街講座及びセミナー参加者数 / 参加予定者及び定員（蒲郡関係分）× 100 |

事業の進捗状況

| | | 平成12年度決算 | 平成13年度決算 | 平成14年度予算 |
|------|------|-----------|-----------|-----------|
| 目標値 | 計画 | - | - | 100.0% |
| | 実績 | 95.6% | 116.1% | - |
| 事業費 | 事業費 | 477,000 | 437,500 | 473,000 |
| | 人件費 | 6,857,600 | 5,014,800 | 4,248,500 |
| | (人数) | 0.8 | 0.6 | 0.5 |
| | 合計 | 7,334,600 | 5,452,300 | 4,721,500 |
| 財源内訳 | 国 | | | |
| | 県 | | | |
| | 市債 | | | |
| | その他 | | | |
| | 一般財源 | 7,334,600 | 5,452,300 | 4,721,500 |

事務事業内容の評価

| 項目 | 課内評価点数 | 部長評価点数 | 評価の説明（問題点） |
|-------|--------|--------|--|
| 達成度 | 6 | 6 | 連続講座受講者のうちアドバイザー登録した者（蒲郡関係）が29名にのぼり人にやさしい街づくり事業の推進に貢献している。 |
| 効率性 | 6 | 6 | 人街アドバイザーはボランティアとして、講座及びセミナーの開催や進行に欠かせない役割を果たしており、市直営で実施する場合に比し経費節減になっている。 |
| 公共性 | 6 | 6 | バリアフリーの街づくりを各地域で進めるうえで、そのリーダーを養成することが行政に課せられた義務といえる。また、まちづくりに人街の理念を反映させるには世代、性別、障害の有無を超えた広範な理解が必要となる。 |
| 緊急度 | 10 | 10 | バリアフリーの街づくりを目指すためには、リーダーの養成だけでなく啓発活動を今後も進めていく必要がある。 |
| 小計 | 28 | 28 | |
| 市民参加度 | 10 | 10 | 行政の観点からは気づかない市民サイドからの意見を集約するため、当初から市民参加を前提として事業が進められている。 |
| 合計 | 38 | 38 | |
| 総合評価 | B | B | 東三河4市の持ち回りでアドバイザー養成講座を開催してきたが、受講者の減少傾向がみられる。また、セミナー開催を受入態勢の整った学校で行うなどして啓発事業をすすめているが、この事業は長い目で見ても継続していくことが必要であり、今後も重要性は高まって行く事業である。 |

これまでに実施した改善点

| | |
|-------|---------------------------------|
| 達成度 | セミナーを学校で開催するなどし、啓発活動の対象を拡大している。 |
| 効率性 | NPO法人にセミナーの開催運営を委託した。 |
| 公共性 | |
| 緊急度 | |
| 市民参加度 | |

今後の改善すべき点

| | |
|-------|---|
| 達成度 | 人にやさしい街づくり事業の啓発事業の拡大を図るとともに、「人にやさしい街づくり整備地区整備計画」の事業推進をし、ハード面での事業展開が必要となる。 |
| 効率性 | 今後もアドバイザー等ボランティアの活用を進めていくが、啓発活動は効率だけでなく継続性を重視すべきである。 |
| 公共性 | |
| 緊急度 | |
| 市民参加度 | 行政が関連する各種計画策定時に、人街アドバイザー等の参画を働きかけて行く |